



2020年10月2日

トヨタモビリティ東京株式会社

寄付型自動販売機（災害時対応自動販売機）を本社に設置

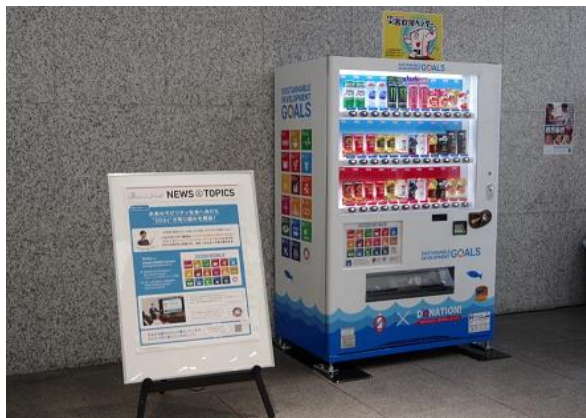
トヨタモビリティ東京（社長 片山 守）は、10月1日 SDGs 取り組みの一環として、飲料購入につき定額を寄付する当社初の寄付型自動販売機（災害時対応機）を本社ロビーに設置した。災害時対応機とは、災害時にドリンクを無償で提供する自動販売機である。

寄付（支援）先は、当社の SDGs 取り組みのひとつ「環境保全」に特化し、海の環境 NPO 法人 OWS（The Oceanic Wildlife Society・オーダブリュエス 会長：長谷川 博）を選定した。

海洋プラスチックごみ削減取り組みの一助として、ペットボトル飲料を販売しない自動販売機の登場となった。NPO 法人 OWS にとっても設置第1号機となる。

また、同自動販売機設置に合わせ、NPO 法人 OWS の活動紹介と海の環境問題を身近に感じてもらふことを目的に、海洋ゴミにより傷ついた海洋生物の写真パネル展を5日まで同時開催する。

当社は、NPO 法人 OWS の活動に賛同し、寄付型自動販売機を通してこの活動を応援することで、SDGs 達成に貢献してまいります。



<本社ロビーに設置された寄付型自販機>



<10月1日 設置式の様子>

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244